

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

# 彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA

## 目次

- ・第175回理事会開催／  
支え合う仲間をふやそう！ 老人クラブ会員加入促進の取り組みについて ..... 2
- ・平成25年度関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会 ..... 3
- ・平成25年度健康づくり大学入学式 ..... 4
- ・平成25年度新任単位クラブ会長研修会 ..... 5
- ・第42回全国老人クラブ大会 ..... 6
- ・全国老人クラブ大会宣言文／コバトンお達者倶楽部からのお誘い ..... 7
- ・特集「心とからだの健康づくりでよろこびの輪を広げよう」 ..... 8・9
- ・平成25年度シルバースポーツ大会 ..... 10
- ・ワナゲ・マグダーツ普及講習会／女性リーダー 一泊交流研修会 ..... 11
- ・日高市老連「創立50周年記念式典並びに演芸大会」／  
小川町老連「女性部会研修会」／ ..... 12
- ・杉戸町老連「創立50周年記念事業」／  
朝霞市老連「創立50周年記念式典開催」 ..... 13
- ・三郷市老連東町隣友会「農家支援クラブ」 ..... 14
- ・元気に活躍する会員さん紹介／埼玉県老人クラブ連合会防犯リーダー誕生  
編集後記 ..... 16

平成25年  
11月20日

NO. 101



彩の国



## 第175回 理事会

平成二十五年九月十三日（金）、彩の国すこやかプラザにおいて第百七十五回理事会を開催しました。

出席者は理事二十名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

・理事 山田恵美  
・理事 堀越一三

### ◆第一号議案「平成二十六年度県の予算編成に対する要望について」

左記の四項目を県に要望することと承認されました。

一 単位老人クラブに対する助成費の確保

二 市町村老人クラブ連合会に対する助成費の確保

三 県老連が行う健康づくり事業に対する補助金の確保

四 県老連事務局職員体制の充実と運営に対する支援

### ◆第二号議案「その他固定資産定期預金の基本財産への繰り入れについて」

五百万円を基本財産に繰り入れることで承認されました。

### ◆第三号議案「平成二十五年度県老連会長表彰被表彰者の選考について」

候補者全員を表彰することに決定しました。

### ◆第四号議案「平成二十五年度シルバースポーツ大会の役割分担について」

左記のとおり決定しました。

ゲートボール担当 成田準之助

グラウンド・ゴルフ担当 柴崎美雄

ペタンク担当 田島貞雄

ソフトテニス担当 小川松次

ワナゲ担当 竹内榮一

マグダーツ担当 渋谷貞夫

司会 玉水きみ子

開会宣言 渋谷貞夫

### ◆第五号議案「平成二十六年度埼玉県老人クラブ健康づくり大学の開催地について」

原則「彩の国すこやかプラザ」（さいたま市）で開催することに決定しました。

### ◆第六号議案「老人クラブ会員章の優待割引利用協定について」

「天然温泉 みりの湯 柏健康センター」（千葉県柏市）と協定を締結することで承認されました。

### ◆第七号議案「平成二十五年度埼玉県老人クラブ健康づくり大学「県老連役員との懇談交流会」の参加について」

左記の八名が参加することに決定しました。

渋谷貞夫、亀田本二、山上三一、竹内榮一、成田準之助、中島常吉、玉水きみ子、大庭三智子

### ◆第八号議案「平成二十六年版皇室カレンダーの幹旋について」

本多観光を通して一本千円（税込）で幹旋することで承認されました。

## 支え合う仲間をぶやそう！

### 老人クラブ会員加入促進の取り組みについて...

県下の老人クラブ会員数は、平成二十二年度をピークに、減少傾向が続いています。こうした流れに歯止めをかけ、より多くの高齢者が仲間に入り、「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を柱にして、活力ある長寿社会を築くため、平成二十四年九月の理事会で「会員加入促進推進運動実施要領」を決定、本年三月各市町村老人クラブ連合会に通知したところです。この実施要領に基づき、平成二十五年度会員増強優秀クラブ、百四十七クラブが十一月開催の埼玉県老人クラブ大会で表彰されることになりましたが、ここで実施要領を再確認し、支え合う仲間づくりに力を尽くそうではありませんか。

#### 推進の枠組みと事業

##### 県老連

1. 加入促進委員会を設置して、各地に新たな加入促進運動の実施を要請し、加入促進計画及び実施状況の提出を求める。
2. 新しい加入促進運動の幅広い広報活動を実施する。
3. 各地への運動実施の啓発、指導と活動の助成を行う。
4. 表彰制度の創設と成果の公表。表彰制度については別途定める。
5. 行政や関係団体への理解と協力を求める。

##### 市町村老連・単位クラブ

1. 加入促進実行委員会の設置
  - 若手高齢者の参加、意見の反映を重視した組織とする。
  - 県老連と連携し、運動の具体的目標を検討する。
2. 運動の実施
  - 新規加入者の加入促進
  - 全老連活性化3ヶ年計画の成果の検証、見直し、掘り下げ。
  - 単位クラブの目標達成に向けた運動の実施と、老連による支援。
  - 単位クラブの成果の把握、評価。

- ・表彰対象の選定、公表、県老連への年一回の報告（毎年七月）
- ・行政、関係団体、一般社会への理解と協力をはかる。
- 解散、休眠クラブの再生
- 新しい事業活動の発掘と展開。

※表彰制度の要点は次のとおり。

1. 平成二十四、二十五、二十六年年度の年度ごとに、五人以上の会員増、及び再生、新規発足の単位クラブ
2. 毎年七月末日までに県老連へ推薦
3. 「県老連ホームページ」等に掲載のほか、県老人クラブ大会で表彰する。

広報委員会



平成二十五年 度

# 関東甲信越静ブロック 老人クラブリーダー研修会

平成二十五年七月四日(木)・五日(金)の二日間、千葉県鴨川市「鴨川グランドホテル」において、平成二十五年度関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会が開催された。

七月四日(一日目) 別館二階東雲にて、十四時から開会式が千葉県老連の白鳥ひさじ氏の司会で始まり、あいさつは、全老連副会長・関東甲信越静ブロック連絡協議会・増田時



枝会長が開会の挨拶をされ、続いて、千葉県老連の青原庄一郎理事長が歓迎の挨拶を述べられた。

来賓の祝辞で千葉県森田健作知事の代理・健康福祉部川島貞夫部長が、祝辞を代読された。

次に、鴨川市・長谷川孝夫市長が歓迎の言葉で開会式が終了した。基調報告は、①活性化計画の総括と今後に向けて、②老人クラブ傷害保険について、全老連河野敦子参事より説明があった。

十五時三十分より二時間に亘り「パネルディスカッション」「超高齢社会・私たちが支えます」、コーディネーター北野大・淑徳大学教授、パネラーは新潟県老連大野一伊会長、千葉市老連須永君



代女性副委員長、シニアクラブ静岡県理事・戸塚順一若手委員長の三氏。

新潟県老連・大野会長は、「新しい活性化を生むために」、①老人クラブを売り込め(PR不足解消)、②人をうごかすには(ひと味加えて価値を高める)、研修会を楽しく・楽しいものとは、終わった時「また、集まりたい」「また、やりたい」と思わせる事だと考えている。今までの研修内容にひと味加えた。と、結ばれた。

静岡県における若手委員会の取り組みと課題(シニアクラブ静岡県・理事戸塚順一) クラブ組織と活動の見直し、会員の意識改革を進める主な項目。

○開かれたクラブ運営  
・ 民主的運営と役員のリーダーシップ

・ 自治会等との連携・協働  
・ 後継リーダーの育成  
・ 体験参加の呼びかけ  
・ 広報の推進

○魅力と活力に溢れる活動  
・ 趣味の多様化への対応  
・ 地域支え合い活動の推進  
・ 次世代教育等への参加  
・ クラブ加入呼びかけ運動  
六十五歳～七十五歳を若手委員会のメンバーとしているが、但し、定年は無いから、七十五歳以上の



人も若干は居る。同年代の新会員を勧誘するのに役立っている。

七月五日(二日目)「表彰式」・「クラブ体操」・「トーク&ライブ」(とても素敵地球)加藤登紀子さん。

次回開催県・群馬県老連大谷七郎理事長のあいさつ。

千葉県老連青原庄一郎理事長の閉会あいさつで、午前十時三十分を終了した。

春日部市 成田 準之助



## 平成二十五年

## 健康づくり大学入学式

平成二十五年七月十日（水）午  
前十一時に彩の国すこやかプラザ  
セミナーホールにおいて埼玉県老



人クラブ健  
康づくり大  
学の入学式  
が六十九名  
（別掲）の  
新入生を迎  
え厳粛のう  
ちに行われ

ました。

成田準之助常任理事の開会のこ  
とばに続いて高橋義一県老連会長  
（健康づくり大学学長）から「老  
連の現状、すなわち会員数の減少  
等実態についての話があり、これ  
から皆さんがリーダーとして頑張  
っていただきたい」と歓迎と激励  
の言葉がありました。

続いて鈴木豊彦埼玉県福祉部長、  
全国老人クラブ連合会齋藤十朗会

長からの「明日の老人クラブリー  
ダーとして大いに活躍されること  
を期待します」との祝電が披露さ  
れました。参列した県老連の役員  
紹介のあと、入学生を代表して春  
日部市の斉藤圭子さんが力強く決  
意表明をされました。

閉会は県老連竹内榮一常任理事  
が「皆さんが県老連の実態を認識  
され卒業後はリーダーとして大い  
に活躍していただきたい」と結ば  
れました。閉会後県老連役員と入  
学者全員の記念撮影と県老連椎名  
久美子主査からスケジュール、カ  
リキュラムの内容等について説明  
がありました。

## 平成25年度 埼玉県老人クラブ健康づくり大学学生名簿

No.	氏 名	市町村名	No.	氏 名	市町村名
1	工藤 憲一	川 越 市	36	川浪マサエ	川 口 市
2	鈴木 節子	川 口 市	37	浅野 恒太	川 口 市
3	吉原 榮子	川 口 市	38	猪狩 善明	川 口 市
4	遊馬 政興	川 口 市	39	瀬谷 柳子	川 口 市
5	斉藤喜美子	川 口 市	40	伊藤 紀子	さいたま市
6	渡辺 久子	川 口 市	41	落合 理一	さいたま市
7	中村 房子	川 口 市	42	吉川 久子	さいたま市
8	山崎まさ子	川 口 市	43	山口 房子	さいたま市
9	植野 寿子	川 口 市	44	今多 保男	さいたま市
10	古松 敏子	川 口 市	45	見村 政男	さいたま市
11	森屋 順子	川 口 市	46	畑中 俊一	さいたま市
12	中宇彌智恵子	川 口 市	47	高野 功	春日部市
13	奥島 京子	川 口 市	48	井原 征子	春日部市
14	伊藤 博子	川 口 市	49	平野まさ子	春日部市
15	白井 克之	川 口 市	50	海老原和子	春日部市
16	水田 和子	川 口 市	51	小暮 久子	春日部市
17	榎原 榮次	川 口 市	52	斉藤 圭子	春日部市
18	濱田 茂夫	川 口 市	53	間庭 憲司	春日部市
19	木下 春子	川 口 市	54	渡辺トク子	春日部市
20	星野千代子	川 口 市	55	石川 京子	春日部市
21	濱田みどり	川 口 市	56	小出 いの	春日部市
22	高野美代子	川 口 市	57	金子 博子	春日部市
23	岡村 達雄	川 口 市	58	金澤 龍夫	鴻 巣 市
24	中村文次郎	川 口 市	59	五井 修	上 尾 市
25	石橋 征義	川 口 市	60	佐藤 登	上 尾 市
26	青木 維久	川 口 市	61	内田 幸雄	越 谷 市
27	姥貝 珪子	川 口 市	62	菊池 政義	北 本 市
28	横田 京子	川 口 市	63	榎本百合子	蓮 田 市
29	高橋 和子	川 口 市	64	住 陸子	蓮 田 市
30	角田 広道	川 口 市	65	蓮沼 益江	吉 川 市
31	滝澤 幸子	川 口 市	66	伊藤 民子	吉 川 市
32	東 多恵子	川 口 市	67	古瀬 溢泰	宮 代 町
33	星 秀夫	川 口 市	68	阿部 定子	川 口 市
34	喜多川ヨリ	川 口 市	69	福王寺ゆき枝	川 口 市
35	飯塚 文子	川 口 市			



午後一時より埼玉県健康管理士  
会顧問高橋義一（県老連会長）講  
師による「健康よもやま話」と題  
する講義が行われ「人間にとって  
眼・歯・耳・鼻は大事な器官であ  
り、健康には重要なのですよ」又  
「卒業後は老人クラブの発展に十  
分力を発揮されることを期待しま  
す」と結ばれました。

松伏町 副島 秀夫



平成二十五年 度

# 新任単位クラブ会長研修会

夏の暑さも一段落した七月三十一日（水）彩の国すこやかプラザにおいて平成二十五年 度新任単位クラブ会長研修会が開催された。

県下二十九市町村から、九五名の新しいリーダーが参加、健康づくり大学のリーダーを目指している学生を加え総数一五八名で会場が一杯になった。

午後一時三十分県老連の高橋義一会長が県老連の現状について話され、皆さんは今日の研修で得たものをこれからの会の活動に生かしていただきたいとの挨拶があり、県老連の出席役員の紹介があり講話に入った。

まず埼玉県警察本部防犯のまちづくり推進室熊谷室長より防犯リーダーの役割と、現在県内において起こっている種々な犯罪について詳細な説明があり、特に振り込め詐欺は依然として多く、六十歳から八十歳の方の被害が多い、又最近では高齢者の万引きが多くなっているとの事であった。後半は振

込詐欺対策本部の二名による実演があった。

引続き全国老人クラブ連合会参事の谷野 香氏による「老人クラブの歴史・現状と今後の展開」と題した講話が行われた。前半は老人クラブの歴史について話された。老人クラブは尚歯会や講が源流とされ、尚歯とは高齢者を尊ぶこと。「尚」は尊ぶ、「歯」は年齢の意味である。現在宇都宮市に尚歯会を名乗る「鶴田町尚歯会」がある。戦後の老人クラブの発足と歩みですが、昭和二十年八月終戦と同時に高齢者自らの手で各地に老人クラブが結成された。老友が集まって楽しみ、生きがいを高める、そ



して学習をし、行政や一般社会に働きかけ老人福祉の世論を高めるために努めた。埼玉県老人クラブ連合会は昭和三十六年に設立された。

次に老人クラブの現状・基本姿勢と活動について話された。その目的は仲間づくり、生きがい、健康づくり活動を通じて生活を豊かに



する、又知恵や経験、能力を生かして地域を豊かにすることである。単位クラブ男女別構成比を見てみると会員数では男性四割、女性六割、会長は男性が九割、女性は一割、会員数の推移を見ると二十四年度末クラブ数で二十一年度と比較すると約七千クラブ減、会員数では約七万人減っている。次に公的援助は平成二十五年 度国庫補助金は二十七億六千万円、この予算の確保と活用に向けての取り組みと適切な執行と処理が求められている。

高齢者を取りまく社会情勢ですが、七十五歳以上の人口が急増している。特に認知症の高齢者が四六二万人になっている。

十分休憩し、後半は「老人クラブの今後の展開に向けて」について話された。活性化三ヶ年計画の総括では会員増の目標は達成出来ず減少した。会員を増やすにはまず「誘う」ことから強調された。皆さんはこれからのリーダーとして楽しい活動を、会員はそれを望んでいます。どうかそれぞれの地域で誇りをもって活動していただきたいと結ばれた。

松伏町 副島 秀夫



## 第四十二回

## 全国老人クラブ大会



〇〇余名のクラブ会員の参加を見て盛大に開催された。本県からは高橋県老連会長始め十三名及び落合局長、椎名主査の十五名が参加した。

初日はクラブ活動に関する交流部会として市内五会場を研究会別に分散。一、健康と介護、二、活性化と加入促進、三、女性の活動四、街づくり、五、震災後対応の五研究分科会が開かれ、事例発表と質疑応答、助言者講師の総括等テーマに沿った地域の特徴、独特の方策、将来展望等が示されたと聞き及んだ。二日目は、岩手県民会館大ホール

老人福祉法五十周年、同保健法三十周年記念、第四十二回全国老人クラブ大会が東日本大震災復興へ未だ血の汗をふりしぼる岩手県盛岡市に於て、平成二十五年十月一日、二日の両日、全国より一六

を会場に満場立錫の余地なき中で開く。まずは、はなやかに岩手の郷土芸能「さんさ」踊りで幕開け。次いで四被災地老連の共同自主製作である短編DVD「被災地の今と老人クラブに笑顔」が上

映され、復興への苦悩の中にも未来への希望に向けた会員の笑顔が感動的であった。続いての齋藤秀樹全老連事務局長による交流部会総括は、要約して地域連帯、互助、見守り、仲間意識、女性の活力、被災を語り継ぐ中からの友情と感謝の絆でのクラブ作り、それらが五部会の共通項であると結論づけられた。続くアトラクションは、同じく岩手の伝統芸能である「鹿踊り」と「鬼剣舞」。その豪壮さと躍り手のスタミナに驚嘆。

式典に入り、国歌斉唱、震災犠牲者への黙祷に続き岩手県連、斉藤文三会長の歓迎の言葉と支援への謝辞の他、来賓各位の祝辞は、様に老人クラブの重要さと期待、被災支援への謝意を例外なく述べられた。表彰は、育成功労表彰一三〇名。優良老人クラブ表彰四七団体。同連合会表彰六三団体。永年勤続表彰一四名という内容であり、本県からは、育成功労表彰に高橋義一会長、山上三一常任理事、大久保留里子理事が、優良老人クラブ表彰に、深谷市畠山上郷福寿会と坂戸市第一住宅親和会が、優良老人クラブ連合会表彰に狭山市老人クラブ連合会が荣誉に浴され

た。次いで大会宣言、次回大分大会開催報告が大分県連の平智会長よりあり、閉会の辞に続きフィナーレは、花は咲くの大合唱の中間幕。思えば大震災復興に一致団結の地で共助を目的とする法施行を記念する大会が開催されたことは意義深く特に被災者からの感謝袋はまさに象徴的であった。

折しも二〇二〇年東京五輪開催決定のニュース。しかもその歓喜の朝、何と東京の空に虹が現われたのだ。これこそ日本の、そして老人クラブの未来へ天からの吉兆のメッセージに間違いない。

さいたま市 竹内 榮一





老人福祉法五十周年・老人保健法三十周年記念  
第四十二回全国老人クラブ大会

## 宣言

老人クラブは、高齢者の仲間づくりと健康づくり・介護予防を基本に、環境美化、世代交流、ボランティアなど、幅広く社会に貢献する活動に取り組んでいます。

わが国は人口減少社会のなかで、75歳以上人口の急激な増加が予測され、地域における高齢者相互の支え合いがますます重要になっていきます。

閉じこもりを防ぎ、心のつながりを深める友愛活動をもとに、住み慣れた地域で継続的に生活ができるよう、老人クラブのネットワークを活かした見守り・生活支援への期待が大きくなっています。

また今日、社会保障制度の持続可能性が問われるなかで、私たちも制度を支える一員として、能力に応じた責任を果たし、高齢者の尊厳を守っていかねばなりません。

ここ岩手県をはじめ、東北から関東に至る海岸線を中心に、東日本大震災では未曾有の大災害に見舞われました。いま復興の途上にあるなかで、「老人クラブの灯を消すな！」を合言葉に立ち上がる被災地・東北の会員の姿に感動し、心からのエールを贈ります。

名峰岩手山に抱かれ、北上川の水清き県都盛岡に集う全国の老人クラブ代表は、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、老人クラブの原点に立った「仲間づくり活動」の強化
- 一、健康長寿をめざす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、日常生活を支援する「地域支え合い活動（友愛）」の推進
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

平成二十五年十月二日

楽しく元気にお出かけ！

コバトンお達者倶楽部からのお誘い

埼玉県では平成二十五年七月一日から、六十五歳以上の方を対象とした新規事業「コバトンお達者倶楽部」を始めました。楽しい外出は気軽な健康づくりになります。ぜひ、皆さまお誘いあわせの上、ご参加ください。

### 仕組み

「コバトンお達者倶楽部カード」を市町村役場等で受け取り、登録店の中から通うお店を1つ決めます。そのお店で買い物や飲食をしてスタンプを押してもらい、カードの有効期限（三か月）内にスタンプを十

### 【カードの表紙】



個貯めると、登録店の御厚意で、割引券や日用品などちょっとした嬉しいプレゼントがもらえます。

### 対象

六十五歳以上の方

### カードの配布場所



埼玉県のマスコット  
コバトン

市町村役場や地域包括支援センター（公共施設やイベント会場などで配布する場合もあります。詳しくは市町村役場にお問い合わせください。）

### 登録店

商店街、飲食店やドラッグストアなど身近なお店があります。最新の情報は、カードをお渡しする時にご案内します。県ホームページでも掲載しています。



登録店には  
このシールが  
貼ってあります。

### 実施地域

現在五十六市町村で実施中

### お問い合わせ先

埼玉県 高齢介護課（電話 048・830・3256）

### ホームページ

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/otassha/>



# Topics 特集

## 心とからだの健康 づくりで よ3こびの輪 を広げよう



### 認知症

昨今高齢者の認知症患者は急増し、全国で305余万人と言われています。「もの忘れ」でも久しぶりに会った友人の名前が思い出せないなど、体験したことを部分的に忘れてしまうのは普通。場所や時間が分からなくなったり、体験したこと自体を忘れてしまうのは認知症の疑いがあります。認知症を正しく理解し、発症しないよう、明るく前向きな生活を続けましょう。

#### 発症の原因と引き金

認知症を発症する原因となる病気はたくさんありますが、約8割が「アルツハイマー病」と「脳血管障害」が原因とされています。さらに、病気やけが、視力や聴力低下などの「身体的要因」、張りあいや楽しみの減少、不安、孤立感などの「精神的要因」、引っ越し、退職、家族との死別といった生活環境の変化による「環境的要因」、などの間接的要因が発症の引き金となることがしばしばあります。

#### 特徴的な症状

脳細胞が徐々に減ってゆくアルツハイマー病と、脳血管障害が主な原因の認知症。発症すると、記憶障害や、判断力、実行力の低下が進行し、いままでの生活を送ることが困難になっていきます。また、コミュニケーションがうまくできなくなり、人間関係にトラブルが起こりやすくなります。

##### ☛ 脳の障害から

- ① 記憶障害 …… 新しいことを覚えられない、直前のことを思い出せない
- ② 失語 …… 使える言葉が少なくなる
- ③ 失行 …… 体の運動機能は落ちていないのに、動作ができない
- ④ 失認 …… 物を見ても何だか分らなくなる

##### ☛ 不安や心身のストレスが高まると

- ① 徘徊 …… 落ち着きなく歩き回る
- ② 物とられ妄想 …… 財布や着物を盗まれた、と言う

早期発見、早期治療が大切です。発症した人の心の中は不安がいっぱいです。接するときは気持ちや感情の動きを感じとって、自尊心を傷つけないように接しましょう。

地域の仲間で普段から気を配り合う…これが一番です。



#### 発症をおさえるために……

- ▶ 生活習慣病を招くようなライフスタイルは認知症発症のリスクを高めます。運動不足にならぬよう、ウォーキング、階段を使うなど、日常的に体を動かしましょう。筋肉がほぐれると、脳と精神に良い影響をもたらします。
- ▶ 仲間と「しりとり」をしながら、ウォーキングなど、頭と体を同時に動かす「運動+脳を使う!」が効果的。
- ▶ 脳のトレーニングとして趣味（手工芸や俳句、和歌づくり、麻雀など）をとおして、頭を使い指先をこまめに動かす。

手指を使う「雑草とり」が大好きな超高齢者がテレビで報じられたが、できることは何でもやり遂げる積極性が、ボケ防止につながるのでは……



#### 地域のクラブは……

- ▶ 生活を豊かにする活動として、健康づくりや趣味・文化・芸能などのサークル活動の推進や旅行など、会員の生涯学習を積極的に手助けしています。
- ▶ 地域を豊かにする社会活動として、思いやりの心を軸に、同世代が支え合う、仲間づくりをすすめています。

### いつまでも役立つ人であるために……



# 平成二十五年 シルバースポーツ大会

十月十七日(熊谷スポーツ文化公園)

台風一過

の会場にゲートボール  
四十八、グラウンド・  
ゴルフ百三十一、ペタ  
ンク二十六、ソフトテニ  
ス十八、ワナゲ二十六、  
マグダーツ二十チーム  
の千五十余名が集まって開催。



**開会式** 主催の埼玉県副知事あいさつ、同じく主催の高橋老連会長の「元氣か」の間に「元氣」の大きな声。そして来賓の祝辞があり、その後各競技会場を巡回する。  
**ウォーキング** まず念入りの歩き方の指導があり十時三十分出発。二百米ばかり列を追ったが健脚の参加者に及ばず取材者は二名とも木陰で休息。  
**ゲートボール** 広大なドームに十

## ★競技部門別表彰チーム★

### ＊ゲートボールの部

優勝 GB 浦和 (さいたま市)  
準優勝 朝霞市三桁会 (朝霞市)  
第三位 三公クラブ (さいたま市)

### ＊グラウンド・ゴルフの部

団体戦  
優勝 深谷市 A チーム (深谷市)  
準優勝 白岡市 A (白岡市)  
第三位 小鹿野町両 1 チーム (小鹿野町)  
個人戦  
優勝 三村三郎 (川越市)  
準優勝 萩原行雄 (羽生市)  
第三位 岡田武久 (伊奈町)

### ＊ペタンの部

優勝 陽野 (秩父市荒川)  
準優勝 ラフター K (深谷市)  
第三位 在家ペタンク同好会 A (川口市)  
第三位 秩父諏訪町 (秩父市秩父)

### ＊ソフトテニスの部

優勝 齊藤 薫・齊藤幹夫 (熊谷市)  
準優勝 赤羽由雄・大山利江 (熊谷市)  
第三位 田邊正男・小嶋春江 (熊谷市)  
第三位 佐藤邦夫・松本幸子 (上尾市)

### ＊ワナゲの部

優勝 深谷市 A チーム (深谷市)  
準優勝 狭山市さわやか会 (狭山市)  
第三位 狭山市新狭山ハイツ (狭山市)

### ＊マグダーツの部

優勝 狭山市さわやか会 (狭山市)  
準優勝 本庄市 (本庄市)  
第三位 所長連 A (所沢市)

二面のコートいっぱいを使い、どよめきと歓声があふれ、笑い声ももれるが、ボールを打つ瞬間の口元は真一文字。審判の声だけが高い天井に響く。  
ボールの位置を指示する声が鋭い。  
**マグダーツ** ドームの二階の会場はダーツを的に投げるのでここは静粛。しかし、ねらいを定め投げる手元には力がこもる。ねらい通りになるとガッツポーズも出る。

**ワナゲ** マグダーツの隣がワナゲ。百三十グラムの輪が台に当たる音が響く。パーフェクトには歓声が沸く。一人でパーフェクト四ゲーム達成の猛者には脱帽。  
**ソフトテニス** 人声はない。人工芝をシューズが擦る音。スマッシュの音だけ。選手の身体が激しく左右に動く。  
**ペタンク** 午後は準決勝・決勝が行われる。黙々とボール(ボール)を投げ合う。準決勝となるとボール(ボール)を握る時間が長く感じられる。ボール(ボール)が相手よりビュットに近いと歓声があがる。  
**グラウンド・ゴルフ** 国体の陸上競技場で行われる。ホールインワ

ンで挙がる歓声、慎重に打ったボールがホールポストを外れてため息。  
『カチン』とホールした音がスタンドにこだまする。

秋の一日、稲の刈り入れを終わった田圃からの風が、心地よい会場に練り広げられたスポーツの一日は部門ごとに表彰式が行われ午後三時過ぎに幕を閉じた。

佐田一郎・小林 英





## ワナゲ・マグダーツ 普及講習会

七月二日

(火) すっ

きりと晴れ

わたり気温

も急上昇。

そうしたな

か、県老連

主催のワナ

ゲ・マグダ

ーツの普及講習会が、彩の国すこ

やかプラザ二階セミナーホールに

おいて、総勢六〇余名の参加者を

迎え、午後一時より開催された。

競技開始にあたり、ワナゲは西尾

和久先生。まず競技上の注意事項

を聴きながら、誰もがはやる心を

抑えていた。

マグダーツの講師は長谷部源一

先生です。それぞれ二つの会場に

分かれ競技スタートのホイッスル

と同時に、一斉に競技が開始され

た。

参加者は皆、慣れたもので、そ

れぞれ競技規定に従いスムーズに

練習。体の重心をきっちり決め、

フォームの安定している人は、好

成績を収めている様子。そして賑



やかな雰囲気も、競技が進むにつれ顔つきも真剣そのものに変化、ゲームに集中していた。

両競技ともなかなか繊細な競技であるが、気力とテクニク、そして正しいフォームと集中力が必要で、日頃から技を磨くための練習を行うことが大切だと教えられ、誰もが暑さと疲れを忘れて集中したひと時であった。が時がたつにつれ会場は和やかな空気に包まれあちこちに談笑がながれる。

何はともあ

れ、得点だけ

にとらわれる

ことなく、楽

しく愉快にゲ

ームを進める

ことが何より

で、この種の

競技に興味を

もち、練習に

打ちこむ。そのことが健康の維持

・増進につながり、筋力が落ちた

高齢者でも楽しめるスポーツだと

実感した。



北本市 佐田 一郎

## 女性リーダー 泊交流研修会

県老連主催の

女性リーダー一

泊研修会が、八

月二十九日、三

十日と新潟県

「月岡温泉白玉

の湯華鳳」で開

催され、県老連

の事務局の方々

と女性委員を含

め四十三名が参

加致しました。

午後三時にホ

テル着、直ちに

研修が始まり、

最初に駒場委員長より、全国三大

運動の「健康、友愛、奉仕」の活

動を基本に「みんなで」「楽しく」

仲間と共に男女共同参画のクラブ

作りに取り組んでゆきましょうと

あいさつ。その後、新潟県老連の

大野一伊会長が「辞書にない熟女

の九箇条プラスアルファ」と題し

て講演。私達熟女が潜在的に備わ

っている九つの強みについて教え

て下さり、今後組織の活性化をす



る為はどうすべきか、その為の九箇条であると指導。その内容は①豊かな表現力で創意工夫が出来る②生活者の視点を持つ③女性たちが持つ地域のネットワーク④知恵や経験を活用する⑤多趣味である⑥褒め上手である⑦気配りが出来る⑧おしゃれである⑨ストレス解消法を知っているこの九つの「熟女力」を学ばせていただきました。研修会は午後五時に終

わり六時から懇親会が始まり、市町村別に舞台に上り、踊りや合唱の披露などがあり、女性リーダーの方々との楽しい交流ができ、今後リーダーとしての活動への意欲向上になりました。

二日目の朝は大雨でしたが、ホテルを九時に出発、途中おみやげを買い埼玉に七時頃全員元気に帰って参りました。

春日部市 玉水 きみ子



## 日高市老人クラブ連合会

## 創立五十周年記念式典並びに演芸大会

十月十九日、日高アリーナ

## 会場の雰囲気

太平洋セメントの白い煙突、茶色の日高市役所に隣り合って埼玉国体の弓道の会場だった日高アリーナ。

空席の見えない会場には、多数の演芸大会の衣装を身につけた人も目立つ。

## 記念式典

午前九時、日高老連柳川志都雄副会長開会の挨拶で式典開始、佐藤松雄会長の挨拶に続いて、老連の愛称を『悠然クラブ日高』とすることが紹介され、日高市長・議長・社協会長・高橋県老連会長などの祝辞があつて式典終了。

## 演芸大会

九時四十分、演芸大会の始まり。太鼓・笛・鐘の生の伴奏の歌で花笠を手にした十二名が、ご当地民謡「女影音頭」で盛り上げる。

次に紫を基調にした衣装の十一名のフラダンスがハワイ航路の夢を駆り立てる。

このようにして演芸は進み、踊

りが十七番、歌が十八番に会場から拍手が沸く。合唱も四組あり、これが高齢者かと疑わせるような声にうっとりさせられる。



二番あり、せりふのやりとりにとつと万雷の拍手。

## エンディング

出演者の演技は日ごろの精進のためか出来栄は上々。二時半には最後の演目。日高老連女性部の『日高小唄』、全員参加とあつて舞台へ四十名以上が次々にあがり、舞台下にも十八名。入り乱れて踊る。司会者の呼びかけでもう一度、客席はいっせいに手拍子。二時四十五分記念演芸大会は終了。

深谷市 小林 英

## 小川町老人クラブ連合会

## 女性部会研修会

平成二十五年十月十一日の午後小川町老連恒例の女性部研修会が同町総合福祉センター・パトリアおがわの生きがいホールで開催された。この研修会は女性部が中心になり、生きがいや健康づくり、生活を豊かにするテーマの中から講師を募り、町内の女性会員を主として、西隣りの東秩父村老連の会員も招待して毎年開催しているもので、今回は「仏戒にみる日々の所作」と題して、輪禅寺住職、志治孝昭先生の講演。

会場は東秩父村の招待者も含め約二五〇名でほぼ満席。定刻になり、最初に小澤祿郎連合会会長から「思やりのある町づくりを進めよう。そして町で交わす挨拶が一番大切なのだ」と熱い口調で話される。続いて吉田昌江連合会女性部長の挨拶があつて講演に入る。講話のテキスト『五観の偈』。「一つには、功の多少を計り、彼の来処を量る」

これから頂戴するこの食事が、

どれだけ多くの労力に支えられ、また、如何なる経緯を経て我もとに至ったかよくよく

思慮し、感謝して頂きます。感謝……と一に感謝。二に反省。三に修行。四に目的。五に誓願。この五つの観念を偈で説かれる。

次のテキストは、「修証義原文」

第三章 受戒入位の第十一節から第十七節まで。難しい仏教の言葉で綴られているが、講師の詳細な説明で、お釈迦様の教えが理解でき、これが仏教なのだと体感した次第。

アトラクションは飯田・紅玉会の八名の女性会員による「南京玉すだれ」。「しだれ柳」など十二種の玉すだれが披露され、有意義な女性部研修会は閉幕した。

北本市 佐田 一郎





杉戸町老人クラブ連合会  
創立五十周年記念事業  
『第十九回杉戸町老連まつり』

田園風景が広がる杉戸町。元氣

な杉戸町

老連は、

五十周年

をむかえ

平成二十

五年九月

二十五日

(水)活

力満点の

「老連ま

つり」を

開催した。

杉戸町老

連岡田勲会長は、人口が少ない町

だからこそ団結し、ここまで連合

会を発展させる事ができ感謝に絶

えないと挨拶。県老連高橋会長も、

その功績を讃え、今後の更なる発

展を期待すると話された。古谷松

雄町長他来賓の方の激励と感謝の

挨拶の後、プロ歌手の出演、会員

による芸能発表が催された。歌あ

り踊りあり、同時に作品展示会も

開催され、最高の節目となった。



事務局 落合

朝霞市老人クラブ連合会  
創立五十周年記念式典  
開催！

平成二十五年十月二十日(日)、

朝霞市民会館「高砂の間」に於い

て、朝霞市老人クラブ連合会創立

五十周年記念式典が行われた。朝

霞市老連の山下正勝氏は、歴代の

会長、会員に心から感謝すると共

に、次の百周年にむかつてみんな

で力を合わせ、今日より出発して

いきたいと力強く語られた。

高岡勝則市

長他来賓の方

から、高齢社

会の中で老人

クラブが中心

となって、更

に健康長寿と

安心安全な町

づくりに貢献

していただき

たいとの挨拶があった。続いて、

功労者の表彰があり、県老連高橋

会長の力強い挨拶の後、懇親会が

催された。肩を抱き合いながら歌

い舞うなど明るく決意のみなざる

五十周年事業となった。



事務局 落合

アルカリ性高濃度温泉で つるつるすべすべ 美人の湯

栃木県 **乃木温泉ホテル**

平日限定企画 1泊2食 **9,900円**

15名様以上の  
送迎付

2泊5食 **18,900円**

(お一人様 諸税込み)

特典

- ◆ご宴会時、日本酒またはジュース1本付き
- ◆個室宴会場を用意します。
- ◆ご宴会時、カラオケサービス

〒329-2712

栃木県那須塩原市下永田1-993-11

**TEL 0287-37-4126**

FAX 0287-37-5508





三郷市老人クラブ連合会

東町隣友会に新クラブ誕生しました

「農家支援クラブ」

東町隣友会では、友愛活動の一環として、本年四月より「農家支援クラブ」活動を始めました。

私達の地域には、農家が数軒ありますが、人手不足のため草取りもままならず、農地が荒れていきますので私達が手助けしようと考え、毎月発行している会報で参加者を募ったところ、予想もしない五十名が応募。(大半が農業未経験者)

地主さんとの話し合いで、「草取りを手伝って頂けるのなら、二反歩位の畑を自由に使って結構ですよ」ということになり、今春四月、地主さんが耕運機で耕してくれました。

栽培するのは枝豆、とうもろこし、さつまいも、かぼちゃ、冬瓜、落花生、はぐら瓜など。

いよいよ種蒔き、農業経験者が十名位しかいないので指導が大変……。

枝豆、とうもろこし、落花生と賑やかに種蒔きを終え、つ



づいて、さつまいもの苗の植付。

蒔いた種が鳥に食べられないように、鳥除けに園芸部長は大忙し。

一週間位で、早い物は芽を出し、

今度は草取りと土寄せが仕事です。草があまり伸びないうちに草取りをしようと、皆の意見を聞き、四班に分けて涼しい時間帯に作業。

七月になり、いよいよ収穫が待ち遠しい時期です。

最初の収穫は七月十一日。それから八月十七日まで八回の収穫がありました。皆がビックリする位の立派な収穫でした。八月十日の収穫の日には、早朝六時三十分には全会員が畑に集まり、役員が用意した、とん汁おにぎり等を食べ、今年最大のイベントとなりました。

農家の草取り支援で始めた活動ですが、野菜の栽培を楽しむ会になっています。「野菜づくり」で「健康づくり」を進めます。

東町隣友会 会長 大木喜代志

園芸部長 藤井 信行



大好評! 自然豊かな信濃路の旅

埼玉県老人クラブ  
連合会 様  
OB会様  
サークル集いの会様  
同級会・同窓会様  
15名様以上 当社バス  
にて 無料送迎付き!

源泉掛け流しの宿

宿泊料金等、詳細はホテル  
まで、お問い合わせ下さい。  
資料をお送りさせていただきます。



天然温泉  
かけ流し



「千曲川からの戸倉上山田温泉全貌」

信州/戸倉上山田温泉

やすらぎの宿

ホテル

雄 ゆうざん 山

〒389-0821 長野県千曲市上山田温泉2-8-11

TEL026-275-2333 FAX026-276-2333

予約電話 0120-30-5489



老人クラブ会員の皆さまへ

平成25年10月1日改定

〈平成25年9月1日以降のお申込みから適用〉

# 老人クラブ傷害保険のご案内

## 総合型

24時間いつでも、  
どこでも  
ケガが心配  
という方におすすめ

年間掛金  
**3,500円**

日常生活全般のケガを補償

さらに  
充実補償の **5,000円** **10,000円** もあります。

※総合型のクラブ活動中のケガの場合は、**白地** + **薄いグレー** の合計 **黒色** の補償額が支払われます。  
※総合型のクラブ活動中以外のケガの場合は、**薄いグレー** のみの補償額が支払われます。

※総合型の掛金・補償額は、職種別A(無職、事務職等)の方を対象にしたものです。職種別B(農林業作業等)の方は、掛金、補償額が変更になりますので、代理店または保険会社までお問い合わせください。

年間掛金		総合型 3,500円	
ケガをしたときの状況		クラブ活動型	24時間型
		活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
補償内容	死亡保険金	45万円	91万円
		<b>136万円</b>	
	後遺障害保険金 <sup>(注1)</sup>	45万円	—
		<b>45万円</b>	
補償内容	入院保険金日額 <sup>(注2)</sup> (1事故につき30日限度)	1,000円	750円
		<b>1,750円</b>	
補償内容	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	500円
		<b>1,150円</b>	

## クラブ活動型

クラブの  
行事や活動に  
よく出かける  
という方におすすめ

年間掛金  
**500円**

クラブ活動中と  
その往復途上のケガを補償

さらに  
充実補償の **1,000円** **2,000円** もあります。

年間掛金		クラブ活動型 500円	
ケガをしたときの状況		活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
補償内容	死亡保険金	45万円	補償なし
	後遺障害保険金 <sup>(注1)</sup>	45万円	
	入院保険金日額 <sup>(注2)</sup> (1事故につき30日限度)	1,000円	
	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	

(注1) 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%～100%が支払われます。)

(注2) 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。

公益財団法人 **全国老人クラブ連合会** 保険係 **03-3597-8770** | 受付時間 9:30～17:30 (土、日、祝祭日休)

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768  
FAX番号 03-3597-8767

〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社  
(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

■この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日改定)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認いただけます。 13-T-03898 平成25年8月作成



## 元気に 活躍する 会員さん 紹介



さいたま市中央区老連  
峰寿会グラウンドゴルフ  
峰球会

新井昌三さん (101歳)



熊谷市に在住  
していた頃は写  
真、歩こう会。  
グラウンド・ゴ  
ルフで活躍され  
ていたことです。現在は読書と  
グラウンド・ゴルフを楽しんでいま  
す。

与野公園で、ある日ある時、声掛  
け合っただけで入会されて三年に  
なります。

プレーしている姿は生き生きと打  
ったボールに走って追駆る。一〇一  
歳とは思えない。

会員七十二名の平均年齢七十七歳  
の中で、穏和な人柄に仲間は親孝行  
の思いやりで見守っています。

新井さんの記 ばけない五力条は、

一、仲間がいて気持の若い人  
二、人の世話をよくし感謝のできる  
人

三、ものをよく読みよく書く人  
四、よく笑い感動を忘れない人  
五、趣味の楽しみをもち旅の好きな  
人

とのことであつた。

(さいたま市 宇田 巧)

\* \* \* \* \*

春日部市いきいきクラブ連合会  
小淵松寿会

丸山 クニさん (101歳)



百一歳おめでと  
うございます。

さて、そもそも  
の出会い、私が  
二十代の頃、町の

工場で丸山ご夫妻と三年か四年、一  
緒に働いた事を覚えています。

それから、私は職を変えて四十年  
会って居なかった。ある時、老人会

に入会させて頂き、市内の幸楽荘に  
行きましたら、一番前に小さい格好  
で座っていたのにびっくりしました。

話を聞くと、毎週土曜日には民謡  
踊りをしたり、カラオケで歌を楽し  
んで居るとのことです。

今では大変足が弱くなりタクシー

を使い、幸楽荘の日には、必ず休ま  
ずに出向いて、皆さんとお話をして  
お帰りになるようです。

(春日部市 新井 彰)

## 埼玉県老人クラブ連合会 防犯リーダー

二〇二九名達成

埼玉県老人クラブ連合会では、  
振り込め詐欺など高齢者を犯罪か  
ら守るため、平成十九年から「埼  
玉県老人クラブ連合会防犯リーダ  
ー制度」を埼玉県、埼玉県警察本  
部のご協力を得て立ち上げました。  
埼玉県高齢者支援計画では、生  
活の安心・安全の施策として平成  
二十六年まで二〇〇〇名のリー  
ダー誕生を目標に掲げておりま  
したが、今年度、防犯リーダーは  
二〇二九名に達し、各地で活躍し  
ていただいています。

これからも高齢者の生活安全の  
ため、防犯意識の高揚など一層の  
啓発を図ってまいります。

## 「彩愛クラブ埼玉」

の発行には、共同募金  
の配分を受けています。



## 編集 後記

二〇一三年九月七日、ブエノス  
アイレスで開かれた国際オリンピ  
ック委員会（IOC）総会で七年  
後の二〇二〇年に東京で再び開催  
されることが決まった。

この発表を追うようにプロ野球  
のホームランや勝利投手の開幕連  
勝記録、またレスリング、水泳、  
スキー、スケート等々、追い風を  
誘うかのように新鋭が記録を伸ば  
している。

そうしたなか、当機関誌も一〇  
〇号を超え、一〇一号を数えるこ  
とになった。前の一〇〇号から機  
関誌の名称も新しくなり、県下で  
一〇〇歳になられた方の紹介特集  
も組まれたが、私の属する北本市  
老連でも一〇〇歳になられた市原  
義一さん。元気そのもので年齢の  
ことなど何のその。市老連の行  
事にも、いつも元気な姿を見せて  
くださる。でも反面、慎重に立ち  
向かっておられるところもある。  
今後、今の生活を続けられて長  
寿記録を伸ばしていただきたい。  
それが私の身近の願いです。

当機関誌の新しい息吹を絶やす  
ことなく守りたいものです。

佐田 一郎